

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22 年 7 月 10 日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4671000190号
法人名	医療法人全隆会
事業所名	医療法人全隆会 指宿みどり館
所在地	鹿児島県指宿市東方7521番地3 (電話)0993-24-5161
自己評価作成日	平成 22 年 4 月 1 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kagoshima-kaigonet.com">http://www.kagoshima-kaigonet.com</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成22年6月24日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員は、家族や来館者に対して笑顔で接し、来館しやすい環境づくりに努めている。

帰宅願望のある利用者様には一時帰宅ができるように配慮し、家族との時間をつくっている。

地域の方に協力をしていただいているので当館でも地域の行事・活動には参加し、地域の一員として貢献できるよう努めている。

指宿の郊外、閑静な住宅地に溶け込んで民家のような外観のグループホームである。法人の医療機関と介護老人保健施設が隣接している医療法人だが、グループホームの職員異動はほとんどなく、職員体制がしっかりしている。また、職場環境が整っており、代表者、管理者、職員間の仕事の意思疎通が図られ、信頼関係が構築されている。利用者へのきめの細かいケアが、質の高いサービスの提供につながり、職員は理想の認知症介護に取り組んでいる。家族への報告も個々に詳しく近況報告を作成し、ホーム便りと合わせ毎月送付しており、ホームでの様子が良く分かり、家族の安心につながっている。また、衣替え、病院受診など、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆も大切にしながら、ともに本人を支えていく関係を築いている。開設12年目となるが管理者、職員は常に向上心を持って利用者の立場に立った介護を目指している。今後も更にサービスの向上と地域と密着した生活の提供が期待されるグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>グループホームの意義を踏まえて理念を作り、スタッフ会議や朝の申し送り時に確認し合い共有している。職員採用時には理念を伝えて理解してもらっている。</p>	<p>地域密着型サービスとして地域との関わりを重要視した理念を謳っている。利用者の家族に書いてもらったものをリビングの見やすい位置に掲げ、職員は理念を日々のケアの指針として、理念に沿ったケアの実践に向けて日々取り組んでいる。職員用トイレにも理念を掲示している。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>朝夕の散歩時、地域の方と世間話をしたり、資源ゴミ回収に出して交流をしている。定期的に地域の方が茶道教室も開いてくれている。</p>	<p>地域行事（敬老運動会など）に積極的に参加して、地域との交流に努めている。近隣の保育園児との交流や、中学生の職場体験学習の受け入れも行っている。今年度より「こども110番の家」の委嘱も受けて事業所自体が地域の一員としての役割を担っている。</p>	
3		<p>事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている</p>	<p>地域の方の見学や相談に応じている。運営推進会議でも地域貢献できることがあれば協力したいと伝えている。子供110番の家を4月に受託するような方向になっている。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>当館での取り組み状況を報告し、委員の方々の意見やアドバイス等をいただいてサービスの向上に努めている。</p>	<p>地区公民館長、民生委員、家族代表、利用者代表、職員の参加で2か月に1回開催している。帰宅願望のある利用者に対する安全対策など、ホームでの困難事例についての話し合いがされて、ホームの運営に活かされている。また、ホーム便りにて家族にも会議の概要を報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政・その他の関係機関との連携が充実できるよう市の連絡協議会も設置している。運営推進会議にも必ず出席していただいてケアサービスの取り組みを報告している。	機会を捉えては積極的に連携を図り、協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、十分に教育指導されているので、その人権擁護の重大さは理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関の施錠は、夜間には必要です。一般の家庭なみの行為です。	高齢者の、権利擁護や身体拘束に関する勉強会を行って周知徹底している。帰宅願望のある利用者も自宅訪問や散歩などで対応し、日中は施錠などせず、職員の見守りで身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会の資料を活用し勉強会を行って虐待となりうる行為を確認して日頃から防止に努めている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修の機会があれば必ず参加しスタッフ会議で勉強会をして知識の習得に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の締結・解約時には利用者様、ご家族が不安を持たれないように十分に説明を行い疑問点もないか尋ねている。改定等の際は、事前に文書で送り来館時に再度分かりやすく説明している。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>自由に意見が言えるような関係づくりをしている。満足度アンケート調査も行って、満足度のその結果等を運営推進会議やスタッフ会議等で話し合っている。</p>	<p>重要事項説明書の意見・苦情窓口に第三者委員も明記している。毎年行っている家族の満足度アンケートは、無記名のため全家族から率直な意見が出され、ホームの運営に活かされている。出された意見、要望については職員全員で話し合い、運営推進会議でも報告して意見をもらっている。家族への結果報告もしている。また、年2回の家族会でも意見交換の時間を設けている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>必要な要件は口頭もしくは文書で受け付け協議しており、口頭もしくは文書で回答して可能な限り許可している。</p>	<p>職員の労働意欲につながるような業務体制がとられており、職員の意見・要望が運営に反映されている。離職も少なく、代表者、管理者、職員間のコミュニケーションが図られている。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>就業状況の評価をし、それを基に給与・賞与などに反映して、労働意欲の向上に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設外の研修には、積極的に参加するように指導し、施設内では介護福祉士試験のための勉強会に参加するように指導しています。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者の交流会をはかり、他の施設職員の見学者を受け入れたり、他の施設の職員との交流を図っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>初対面や入居時に利用者本人の話を傾聴し、不安を取り除き安心していけるようにしている。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>困っていることや不安に思っていること等を傾聴し、安心して何でも話せるような関係づくりに努めている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご家族や本人にとっての最善の解決策を話し合い、必要に応じて他のサービスの利用を紹介している。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人を個人として尊重し、人生の先輩として相談に乗っていたり、畑仕事や料理等も教えていただきながら一緒に過ごしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族とは、定期的に日頃の状況を使い出して把握してもらい、必要に応じて連絡を取り合って、一緒に協力をいただいで支えている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れることなく、継続できるよう支援している。</p>	<p>法人の施設に入所している友人を訪問したり、利用者のなじみの知人が訪ねやすいように家庭的で開放的な雰囲気を感じて関係継続の支援をしている。ホームに入居してから近所の理髪店がなじみの店になった利用者もいる。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者様同士の関係を把握して職員が間に入って日々の生活が楽しく過ごせるよう支援している。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用 契約 が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>利用終了後も本人と会って話をしたり、ご家族からの電話等もあり相談に乗ってお礼の言葉もいただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人・ご家族からの話しや、記載してある日々の個別記録の行動・言動などからスタッフ間で情報交換し、本人本位に沿えるよう努めている。</p>	<p>ほとんどの利用者とは口頭で意思疎通が出来るため、日常の会話や動作で思いや意向を把握している。職員に「知らなかった」ということがないように、朝の申し送りと申し送りノートにて、情報の共有・供覧を徹底している。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人または家族や関係機関等に話を聞きながら、これまでのサービス利用の経過等に努めている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>職員間で心身状態の情報を記録に残して、共有できるようにして現状把握に努めている。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人・ご家族の要望や意見を聞いて作成している。利用者様の状態変化が見られた場合は、カンファレンスを行いケアプラン変更をしている。</p>	<p>帰宅願望のある利用者には、定期的に帰宅して自宅の仕事を手伝うことをプランに取り入れたり、利用者やなじみの知人との関係継続を取り入れたものなど、それぞれの関係者の意見やアイデアを反映して現状に即した本人本位の介護計画を作成している。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子や変化等は、個人記録へ記入するようにしている。また、入浴時の身体の変化・気づいた事なども気づきノートに記録し情報の共有を行い介護計画に役立てている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の希望を尊重し、その時々生まれるニーズに対しては、本人・ご家族の状況によって柔軟に対応できるようにしている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近隣の方や民生委員、消防、ボランティア等の方々に協力をいただきながら支援している。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人やご家族の希望を大切に、かかりつけ医を受診できるように支援している。また、かかりつけ医には、近況を報告し指導をいただいたりしている。</p>	<p>受診は本人、家族の状況に応じて柔軟に行っている。利用者のかかりつけ医と事業所との関係を築き、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>定期受診の時に気になっている事は聞くようにしている。看護師が定期的に訪問した際に健康管理の指導を受けている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院した際は、できる限り職員が面会に行き、情報交換を行っている。母体が病院なので定期的に受診を行い相談や助言をいただいている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期の事は、全利用者様のご家族の方にどうしたいか話し合い職員も共有している。ホームが支援できる方向性を統一した指針が定められて、ご家族の同意書も作成している。</p>	<p>重度化や終末期の対応方針について、文書化したものを作成している。家族に説明して同意書ももらっているが、今年度よりケアプラン更新時に再度家族の意向を聞き、定期的に同意をもらうように検討している。職員のマニュアルも作成して方針を共有している。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>スタッフ会議などの時に定期的に話し合っている。法人内である研修会などにも参加している。今後は離館時の対応も実践していきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>迅速に避難・誘導が出来るようにスタッフ会議で話し合い、地域の方々も参加していただいて協力体制を築いている。</p>	<p>年2回、昼夜間想定 of 火災訓練と年1回災害訓練を行っている。隣接する法人の施設との協力体制も築いており、夜勤帯の職員の不安軽減にもつながっている。また、通報装置も設置している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の生活歴や今までの環境を十分に理解し、言葉かけや対応等には注意をはらっている。個人情報の取り扱いにも注意している。	理念にも「一人ひとりの権利と尊厳を守り」とあり、人格の尊重とプライバシーの確保に取り組んでいる。排せつ誘導などもさりげなく行うなど配慮している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様、お一人お一人に合わせた働きかけをしている。時により自己決定ができるような働きかけもしている。	/	/
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、入浴時間、食事にかかわる時間等、利用者様の希望や状態に合わせ、柔軟にペースが保てるように支援している。	/	/
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個性や好みを大切にして整容の援助を心がけている。おしゃれをすることにより、気持ちを高め生活リズムができるよう支援している。	/	/
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と共に、利用者様の力を活かし、楽しみながら準備や片付けをしてもらっている。苦手な食材はわからないように盛り付けや切り方を工夫している。	個々の身体状況に応じた食事の支援を行っている。また、ときには利用者の嗜好に応じてメニューを決めたり、ホームの菜園で採れた食材を使って調理をするなど食事を楽しむことのできる支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個々の身体の状態に合わせて栄養管理と水分量の調節をしている。併設施設の栄養士にも相談して助言もいただいている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の歯みがき、うがいを必ず行い、一人ひとりの口腔状態に合わせた口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>一人ひとりの行動を観察しながらトイレ誘導を行っている。又、排泄チェック表を参考に排泄パターンを把握し、排泄の失敗やおむつ使用を減らし自立に向けた支援をしている。</p>	<p>個々の排せつパターンを把握するため、排せつチェック表を作成している。健康管理と時間帯の把握ができて早めのトイレ誘導などで排せつの自立に向けた支援を行っている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>繊維の多い食材や飲食物を工夫して提供したり、個々に合った運動や散歩等を行ってスムーズに排便できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の体調に合わせ、午前入浴や3時以降入浴したい人など、一人ひとりの希望で入浴できるようにしている。	天然温泉であり、利用者自慢のお風呂である。入浴日は特に決めず、毎日入浴している利用者もいる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	好きな場所で休息していただいて夜間も時間にこだわらず、一人ひとりのパターンで安眠できるよう支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	与薬説明書をいつでも見られる場所に置き解らない時は、病院に聞いている。服薬後、異常がないか職員間で様子を見ている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人が好きだった畑仕事、おやつ作りなど一緒に語りながら作り、楽しい時間を過ごしている。また、外に出たい人には、一緒に散歩などに行きリフレッシュしていただいている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族によっては、多忙の方、高齢で思うように面会に来れない場合などおられるので、こちらから出向いて手作業の仕事をしてもらったりして、家族との時間を過ごせるよう支援している。また、希望に沿って散歩やドライブにも出かけている。	散歩や買い物同行、自宅訪問など戸外に出かけられるように支援に努めている。また、ときには夜のイルミネーションを見に行ったり、遠足やソーメン流し、地区の夏祭り・運動会などに出かけることもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物に行った時は、自分の財布の中からお金を出してもらったり、力に応じて出納帳に自分で記録してもらっているようにしている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>年賀状は力に応じて送るように支援している。また、送り物が届いたりした時はお礼の手紙を書いたり電話で話をしている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花を飾ったり、季節ごとに装飾を変え、四季を感じられるようにしている。利用者様の方も装飾品を作ることによって季節も理解でき温かみのある空間作りに努めている。室温・気候に応じて換気や照明にも気をつけている。</p>	<p>玄関を入るとすぐに程よい広さのリビングがあり、台所と一体化しているので利用者が手伝いをしやすい作りである。和室もあり今の時期は庭のあじさいが眺められ、季節を感じることができる。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テーブル、ソファ、畳の部屋があり、仲の良い利用者様同士で集まって会話したり疲れている時は、休むことができるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と相談し、愛用していた品々や写真を部屋に飾り、寝具も使い慣れた物を使用している。居室には、レースのカーテンを取り付けプライバシーが守れて居心地よく過ごせるように工夫している。	居室は南向きで庭に面しており、広くはないが落ち着いた雰囲気作りをしている。衣替えなど家族の協力をもらっており、家族も本人が居心地良く過ごせるように居室作りをしている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の目印となる表札を使用しトイレも覚えていただくまでは印をつけ、手すりや家具等を利用して安全に生活出来るよう言葉使いにも気をつけ混乱を招かないようゆっくりと話すようにしている。			



アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1	ほぼ全ての利用者の
		2	利用者の2/3くらいの
		3	利用者の1/3くらいの
		4	ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1	毎日ある
		2	数日に1回程度ある
		3	たまにある
		4	ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36,37)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ全ての家族と
		2	家族の2/3くらいと
		3	家族の1/3くらいと
		4	ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない